

◆◆お知らせ◆◆

※新規会員入会金無料キャンペーン実施中！！

平成27年度に実施しておりました、新規会員入会金無料キャンペーンが好評につき
28年度も続けて新入会員入会金無料キャンペーンを実施する事になりました。この機会に是非、
お知り合いの建築士事務所の方に、ご入会を勧めてください！！（詳細は事務局まで）

◇近日、本会開催予定のイベント等◇

◆イベント

設立40周年記念式典・祝賀会

日 時:平成29年1月27日(金)

式典 正午～13:40(受付11:00～)

祝賀会 14:10～16:30

会 場:ロイヤルホールヨコハマ

式典 3F セレナーデの間

祝賀会 2F ヴェルサイユの間

二次会

時 間:17:00～19:00

会 場:横浜マリントワー1階 THE BUND(ザバンド)

会 費:3,500円/1名(飲み放題 軽食付き)

※参加のお申し込みは12月26日までとなっております。

◆法定講習

平成28年度第4期 建築士定期講習会

日 程:平成29年2月17日(金)

会 場:神奈川県民ホール 6F 大会議室

定 員:240名

詳細は神事協HPをご確認ください。

※建築士定期講習を前回平成25年度に受講された方
(平成25年4月～平成26年3月)は、平成28年度中
(平成29年3月末まで)に受講する必要があります。

◆講習会

震災建築物の被災度区分判定基準
及び復旧技術指針講習会

日 時:平成29年2月24日(金)

10:20～16:50(予定)(受付9:40～)

会 場:神奈川県民ホール 6F 大会議室

定 員:240名

詳細は同封チラシ・神事協HPをご確認ください。

※被災度区分判定は、主として構造躯体の被害が原因で
「危険」、あるいは「要注意」である建築物の内部に建築構
造技術者が立ち入り、当該建築物の損傷状況を調査する
ことにより、復旧の要否とその程度を判定する震災復旧上
重要な判定技術であります。また、応急危険判定や罹災
証明の判定基準の基となっております。

震災時において、最初に行われる活動や業務に大いに
役立つ内容となりますので、会員各位におかれましては、
是非ご受講頂きますようお願い申し上げます。

◆講習会

「JAAF-MST2016」講習会

日 時:平成29年1月17日(火)

14:30～17:00(受付14:15～)

会 場:神事協会議室

受講料:JAAF-MST所有者 1,000円

JAAF-MSTお持ちでない方 3,000円

持ち物:ノートパソコン(Excel2007以上)

「業務報酬算定方法」

講習内容:ソフト概要説明

データベース入力方法説明

業務報酬算定

詳細は同封チラシ・神事協HPをご確認ください。

〈今後の講習会等開催日程のお知らせ〉

◆講習会

建築物等調査鑑定業務研修会

日 程:平成29年2月21日(火)

会 場:横浜情報文化センター 情文ホール

詳細は後日、お知らせいたします。

◆見学会

企画委員会主催・バス見学会

日 程:平成29年3月14日(火)

行 先:国立西洋美術館、東京文化会館、

(予定)東京都美術館、江戸東京たてもの園

(前川國男自邸、小出邸(堀口捨己))等

詳細は後日、お知らせいたします。



広報情報委員会からのお知らせ

広報誌への原稿のお願い

「建築探訪」「会員仕事紹介」「旅行記」「表紙写真」

原稿を募集しております。どしどしご応募ください。

瓦版担当:広報情報委員会

平成28年度・秋のスポーツ大会（40周年記念事業）

横浜支部 雨森 隆子

- ・競技種目 : ボウリング(競技定員100名)
- ・日時: 10月29日(土) 15:10～
- ・会場: ハマボール (ハマボール・イアス8階)

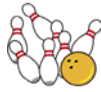
今年度のスポーツ大会は、横浜ブロックが担当し、ボウリング大会を行いました。横浜駅西口の「ハマボール」を会場とし、懇親会会場も同じビル内の「ベノア横浜」で開催しました。

20レーンに1レーン5名の参加者100名となりました。

ボウリング大会は、予定時間より早々に終了し、懇親会開始を早めて頂く事となりました。

懇親会では、名司会者のもと、アルコールも入り、ボウリング大会の成績発表と表彰式やお店よりケーキのプレゼントがあったりと、大変盛り上りました。

ケガ人もなく無事に終了しました事を、報告いたします。



『建築士の仕事展2016』に参加して

鎌倉支部 前砂 雅弘



撮影者: 山中信悟

鎌倉生涯学習センターの玄関を入って左にある階段をUターンするように地下2階に下ると市民ギャラリーがあります。四区画に仕切られたその一室の、長さ10mほどの展示壁に挟まれるような空間が仕事展の会場でした。

入ると展示室の壁にはA1パネルの天端をそろえる黄色い水糸が張られ、すでに名前が書かれたプレートが配置されており、企画運営の皆様に感謝しつつ、そこにピンを打って自分のパネルを掛ければ展示作業完了です。

こう書くと気楽なことのようにも思えますが、自分の仕事を一枚のパネルにまとめて人前に出すには、それなりの勇氣が必要でした。

撮影された写真を選ぶにしても、その中に苦い後悔の気持ちがひとつもないと言ったら嘘になり、設計者としての気分はいささか複雑です。

しかしそうではあってもこの展覧会が、自分の仕事にひと区切りを付けて次に進むための良い機会だと思ふことができました。

ご来場くださった皆様に「こんなことをやっている人がいる」と思っていただけなら幸せです。

横須賀市の『まちづくり』活動 勉強会 報告

景観・まちづくり専門委員 小島紀雄

第6回目の勉強会は11月25日(金)、講師に地元横須賀の郷土史家・山本詔一氏をお招きし、神奈川近代文学館(横浜・港の見える丘公園内)で行われました。

勉強会は〈そんなことがあったんだ〉という驚きと、〈なるほど〉と納得する話であつという間に90分が過ぎりました。

*横須賀線

一般的には鉄道が引かれることにより物流、人の流れが活発になり、町が元気になりますが横須賀線が引かれたことから、横須賀の悲劇が始まった。徐々に海軍の高級士官などが横須賀を離れ、逗子・鎌倉へ住居を求めるようになった。

横須賀線には初めから高級士官用車両が用意され通勤が可能になった。

*まちづくりー旧軍の遺産と建物を組み合わせた「よこすかストーリー」をどのように展開するか

- ・軍港めぐりが横須賀の名物になっていることをヒントに、軍都・横須賀の見せ方を工夫する。
- ・大震災はレンガ造りの海軍施設を尽く破壊したが、ドッグは無事でレンガ積みの高い技術が証明され現在も使用可能。
- ・明治期の陸軍砲台遺構は比較的良い状態で数か所に残っている。
- ・昭和初期の旧海軍建物が米海軍基地内に数棟現存しているが、見学ができない。
→トランプ次期大統領に会って開放を訴えたい。
- ・大震災後の出し桁造りの商店や看板建築の商店が市内に多く点在している。
→市民の間でも古いものを大切にしようとする機運は高まっている。
- ・日本遺産/鎮守府が設置された4市(横須賀・舞鶴・呉・佐世保)と活性化協力
- ・まず浦賀のまちを元気にし、横須賀のまち全体に広げたい。
→土蔵や石蔵が点在し、築80年を超えた商店や民家も見られる。
→現在、浦賀奉行所を復元しようとする市民運動に拍車がかかっている。
→数棟の土蔵は改修工事され、鰻絵も復活させ職人さんの技術継承を大切にしている。

